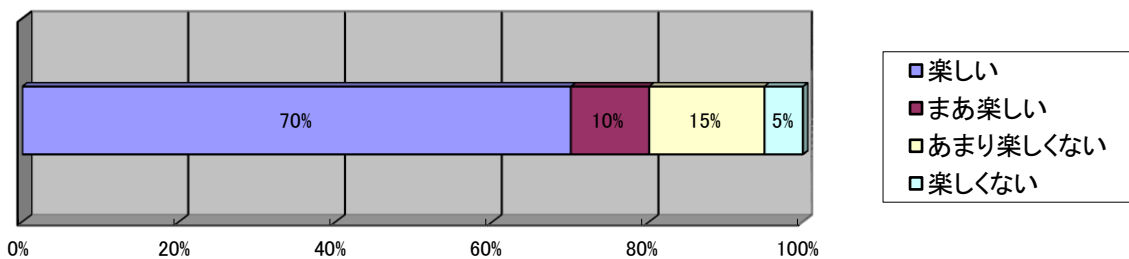


令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

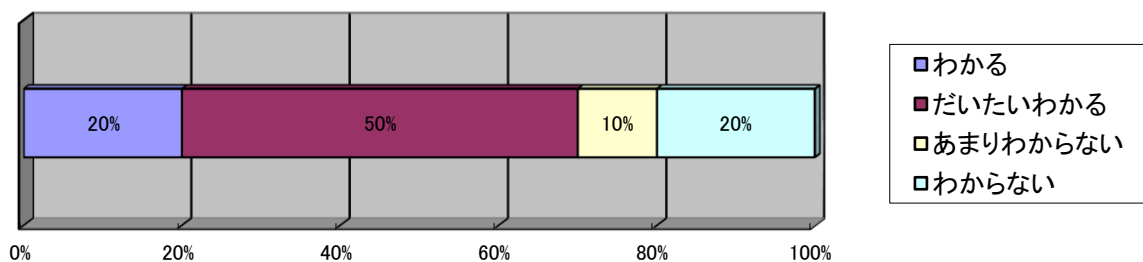
1 自己評価結果

令和5年度の1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか。」という質問に対し、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の80%だった(資料1)。また、「動画教材のお話はわかりますか。」という質問に、「わかる」、「だいたいわかる」と回答した児童は、全体の70%だった(資料2)。動画教材のお話はわかりますか(資料2)の問いに対する理由(資料3)から、ジェスチャーや文字、イラストを頼りにして、動画教材の内容を把握できる楽しさ、繰り返し学ぶことでわかる楽しさを児童が実感していることがわかる。このことから、動画教材の視聴が有意義であることと、毎日の積み重ねによって身に付いていることが実証された。しかしその一方、歌のテンポが速く、内容を理解できていない児童がいるなど、児童の状況によっては教師の適切な支援が必要であることがわかった。

児童アンケート【英語活動は楽しいですか】(資料1)



児童アンケート【動画教材のお話はわかりますか】(資料2)

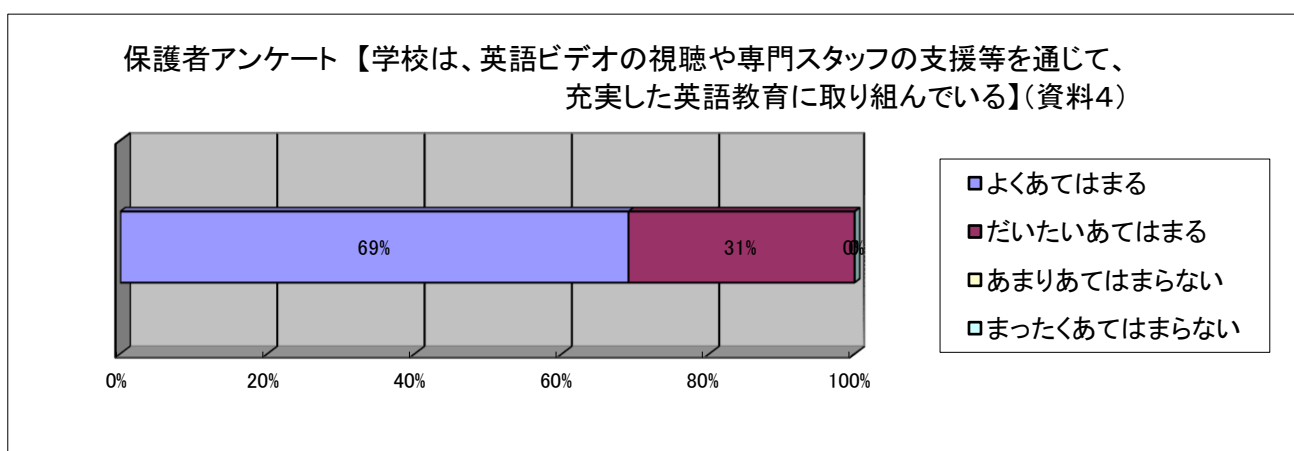


児童アンケート【「動画教材のお話はわかりますか」の問いに対する理由】(資料3)

- ジェスチャー(動き)があるからわかりやすい。
- 繰り返し見ているうちにわかるようになった。
- リズムにのって何度も発音すると楽しく、内容がわかってくる。
- 絵や文字が出てくるからわかりやすい。
- ▲歌のテンポが速く、何を言っているのかわからないときがある。

2 学校関係者評価結果

令和5年度に行った保護者向けアンケートの「学校は、英語ビデオの視聴や専門スタッフの支援等を通じて、充実した英語教育に取り組んでいる」という質問に対して、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した保護者は全員（資料4）で、児童向けアンケートの回答と若干のずれが見られる。要因として、専門スタッフであるSTやALTと行う外国語活動や英語の授業が充実したものとなっていることが考えられる。今後も専門スタッフと行う外国語活動や英語の授業の充実を図るとともに、1～4年生の動画教材による外国語活動については児童の様子を注視し、必要に応じて適切な支援を心がけていきたい。また、保護者や地域の方に英語活動を楽しむ児童の様子を、学校ホームページや学校通信、学級通信などで発信していきたい。



3 まとめ

毎日の英語活動では動画教材の視聴を通して児童は英語に親しみ、英語活動が「楽しい」や「まあ楽しい」と答えた。しかしその一方、内容が「あまりわからない」や「わからない」と答えた児童がいることで、英語活動が「あまり楽しくない」や「楽しくない」と感じている結果が浮き彫りとなった。今後は、児童にとってわかる英語活動とするため、必要に応じて教師が内容を補足したり、英語に親しめるように活動内容を工夫したりすることで、児童にとって楽しい英語活動となる実践をしていきたい。